

大津小便り

平成二十八年
五月九日(月)NO一
文竇吉良呈

この度の地震で被災された皆様に
心よりお見舞い申し上げます
・・「心一つ」に再スタート・・

四月十四日（木）及び十六日（土）の熊本地震は、大津小学校の児童・保護者をはじめ、地域の皆様など多くの方々に、かつてないほどの恐怖とともに甚大な被害を与えました。本校では、十四日（木）の前震で翌日を休校にしましたが、十六日（土）の本震による被害拡大のため、最終的には、五月六日（金）までの約三週間という長期間の休校措置をとらざるを得なくなりました。

この間、地震直後のメールによる子どもや職員の安否確認に始まり、全職員で、継続的に一人一人の子どもたちの被害や避難の状況を把握してきましたところです。

幸いにも、子どもたち全員が無事でいてくれたことに、まずは安心したものの、本日に至つても止まない余震もあり、それぞれの心は、相当地重なつていています。

大津町では、授業再開の前、二週間に亘り、四日ほどの学校開放日を設けました。少しでも、子どもたちの心が元気になる時間を創れればと思ったからです。半数ほどの子どもが登校してくれ、笑顔を見ることが出来ました。本日の授業再開日が久しぶりの登校だと、いふ子どもも多くいます。

また本日より、南阿蘇西小学校の立野地区を中心に、二十一名の子どもさん達が、本校に体験入学して来られました。まさかの阿蘇大橋の崩落のため学校に通えないからです。町内の避難所から通つて来る子どもさんも、本校の子どもたち同様、さまざまなものストレスを抱えているのではと心配です。体験入学とは言え、本校の子どもたちの一人として迎え、共に、この困難を乗り越え「元気」と「活力」を取り戻していきます。

大津小学校の教育目標

夢を持ち、笑顔と自信にあふれる 子どもの育成

今年も「夢」（自分の目標や将来像）を持つ
ち、学びの実感（「やつた」「分かった」）の
中で笑顔と自信に溢れる学校を目指します。
まずは、「笑顔」が一つでも増えるように、
今年も六年生を中心とした楽しい学校生活を
創つていきます。

運動会の開催・・五月二十九日(日)

先にメール等でも連絡させていただきましたが、本年度の運動会を計画通り、五月二十九日（日）に開催します。

子どもたちの心のケアについて
今回のような震災後には、子どもたちの
様子に変化が見られる場合があります。出
来るだけ早く気付きケアをすることが大切
です。本日、保護者に配布しました資料を
参考に、何か気になることがあれば、担任
で連絡してください。専門家につなぐこ
も可能です。

大津小キャラクタ
ー「おおづっ
ち」、女の子は、
「おおづっぴ」で
す。二十六年度の
児童会役員が全校
に呼び掛けて、誕
生しました。



地震による本校の主な被害状況について

- 体育館北側壁面のパネル崩落及び屋根の一部破損
 - ・一年以上の工期が必要なため現在、使用不可。
- 保健室下部の水道管漏水
 - ・休みの日は、校舎内外は断水します。
- 図書室前廊下
 - ・天井板の検査が終了するまで、通行禁止。

※校訓
かしこく、清く正しく、たくましく

「時を守り 場を清め 礼を紀 (ただ) す」

- 子どもも教職員も、
- 時間や約束を守ります
- 整理整頓・無言掃除で気持ちよい学びの環境づくりをします。
- 相手に届く挨拶をします。



